

航空情報センターの概要

設置の背景と必要性

世界の情勢

- ・航空交通量の増大
- ・RNAV運航等データ依存型運航の増大

→ 航空情報高度化(電子化、品質管理システム導入義務化)(ICAO第15附属書)

品質管理システム導入

日本の課題

- ・ノータムの発行漏れや内容の誤り、発行の遅延を防止するため、その発行方法の抜本の見直し(行政評価局勧告)
- ・AIP発行体制の見直し

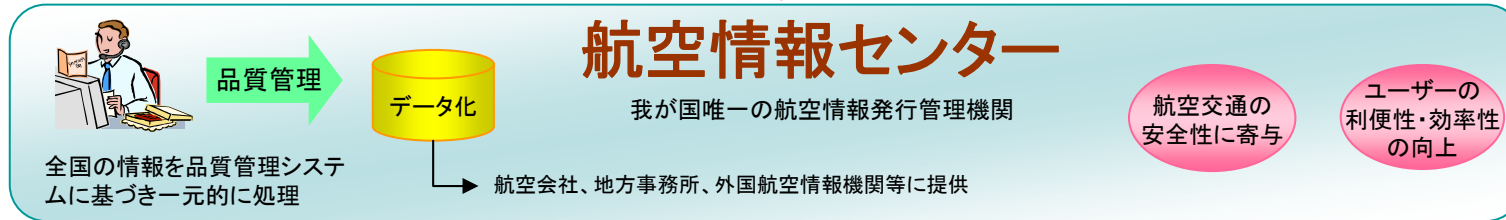


体制抜本見直し

ユーザー要望

- ・電子的な航空情報の提供
- ・アクセス可能なデータベース構築
- ・高度な障害物情報等の提供

電子化など



業務内容

高精度・高品質な航空情報提供



Database

航空情報の電子化

平成19年7月1日～

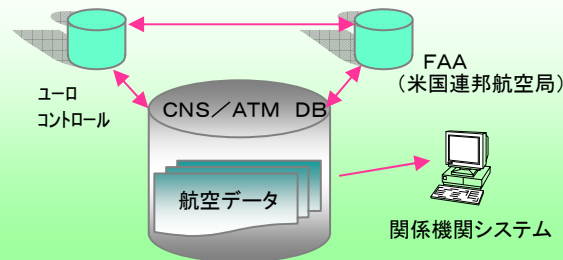
- 航空路誌、ノータム等の航空情報の一元発行・管理
- 品質管理システム導入
- 海外航空情報の収集・分析・提供
- データベース運用開始に向けた準備作業

平成20年度～

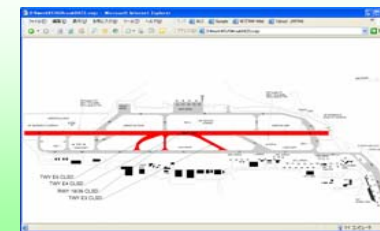
- 航空データの作成・管理・提供
- 航空データの国際交換
- 電子航空路誌(eAIP)の提供
- グラフィックノータムの提供

* その他ICAO国際標準に準拠した業務を実施予定

◆航空データ
航空情報を形成する各種情報等をデータ化したもの。インターネット技術のXMLで提供するためユーザー側で用途に合わせた編集・加工が容易となる。



電子AIP



グラフィックノータム